下からはまだ報告はないものと思われる。

（〒230　横浜市鶴見区潮田町3-138-1）

長野県扉温泉でムネモンヤツボシカミキリ

林　良一

1972年３月19日に長野県松本市外の扉温泉から持ち帰ったサルナシ材を，帰宅後の同年４月２日に割ってみたところ，ムネモンヤツボシカミキリ *Saperda tetrastigma* BATES １♂（成虫）が出てきた。

扉温泉の早川広文氏によれば，同地での採集例を聞かないということなのでここに報告しておく。

なお，同じサルナシ材からは後日に多数のアカネカミキリ *Phymatodes maaki* (KRAATZ) が脱出した。

（〒154　世田谷区上馬5-38-3）

ムネモンウスアオカミキリ石垣島の記録

杉野　広一



台湾原産のムネモンウスアオカミキリ *Pareutetrapha magnifica* (SCHWARZER) は，わが国からは八重山諸島西表島での３例の報告[1),2)]があるが，筆者は石垣島から採集できたので報告しておく。

１♂，石垣島オモト岳，11. Ⅳ. 1973，杉野広一採集

なお，この個体は頭部と前胸の青い f. *unicolor* である。

1)　小島・林・国吉・渡辺：高知大学学術研究報告 **14**，自然科学Ⅱ No. 9，p. 99，1965

2)　YOKOYAMA, H.: Ent. Rev. Japan **23**(2), p.100, 1971

（〒663　西宮市上大市4-148）

伊豆御蔵島のカミキリ２種

藤田　宏

1.　ハネナシチビカミキリ

Palausybra hachijoensis HAYASHI

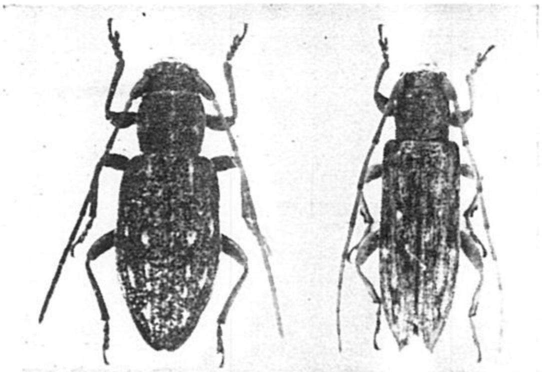
１♂，御蔵島黒崎高尾，30. Ⅵ. 1973，藤田宏採集

伐採木のビーティングによる。

１♀，御蔵島川田，1. Ⅶ. 1973，藤田宏採集

シイ倒木のまだ枯葉が付着している枯枝のビーティングによる。

本種は東南アジア（パラオ諸島）に同属種をただ１つもち，また形態的にも写真に示すように，一見アカガネカミキリにも似る？という特異な種である。



左：ハネナシチビカミキリ　右：アヤモンチビカミキリ

八丈島（原産地）と御蔵島より記録されているが，八丈島では原記載（1958年）以来採集された話は聞かず，また御蔵島においても数例のみで最近は得られていなかったもののため，報告しておきたい。

2.　アヤモンチビカミキリ *Sybra ordinata* BATES

1 ex.，御蔵島里，1～8. Ⅷ. 1973，T. NOMURA・T. AKIYAMA 採集

種子島以南の島々には普通に産し，四国・九州にも分布するが，本州からは確実な記録を知らない。もちろん伊豆諸島からの記録も従来なかったもので（沢田・渡辺（1969）の記録はミクラチビカミキリ *Sybrodiboma mikurensis* HAYASHI のことである），今回が伊豆諸島としては初めてと思われる。

（〒110　台東区台東2-29-6）

屋久島でオニホソコバネカミキリ♀を採集

川田　一之



筆者は，1973年７月に屋久島を訪れた際に，オニホソコバネカミキリ *Necydalis gigantea* KANO ♀を採集した。これまで♂は３頭得られているが，♀は初めてと思われるので報告する。

１♀，屋久島白谷，21. Ⅶ. 1973

土場を飛んでいる所を採集。

この個体は，群馬県大沢産のものと比較すると，触角がいくぶん長く，細い体をしている。

なお，この土場では数日の間に，本種のほかキスジトラ（subsp. *kamakarii*）・ムモンチャイロホソバネ・トラフホソバネ・アラカワシロヘリトラ・ヤクシマミドリ等のカミ

キリが採集された。

（〒164　中野区東中野5-20-13）

関東周辺におけるトワダムモンメダカカミキリの採集記録2例

斉藤　秀生*・川田　一之**

トワダムモンメダカカミキリ *Stenhomalus lighti* GRESSITT は北海道・本州・四国より分布が知られている種であるが，長野県松本周辺・東京都下高尾山・札幌市簾舞を除いてはその採集例は稀で，産地も限られている。

筆者らは関東周辺において，下記の通り本種を採集しているので報告したい。

1♂，静岡県天城山，13. Ⅴ. 1973，斉藤秀生採集

白色花上にて。同地では，3頭めの個体と思われる。

1♂2♀♀，神奈川県丹沢物見峠，14. Ⅹ. 1973，川田一之採集

キブシ枯枝中より採集。丹沢山塊では，おそらく初記録と思われる。

*（〒154　世田谷区弦巻4-2-17，くるみ荘30号）
**（〒164　中野区東中野5-20-13）

奥多摩川乗谷でフタスジカタビロハナカミキリを採集

陶山　　淳

フタスジカタビロハナカミキリ *Evodinus bifasciatus japonicus* MATSUSHITA の関東以北における採集例は少なく，東京都下奥多摩からは御岳山麓，三頭山，五日市などで数頭が得られているにすぎない。

筆者は本種を川乗谷にて採集しているので，ここに新産地として報告しておきたい。

1 ex.，奥多摩川乗谷，28. Ⅳ. 1973，陶山淳採集

午後3時頃，川乗沢の停留所の後にある岩壁に飛来したところを採集したものである。

なお，当日は晴天無風で，気温も高かった。

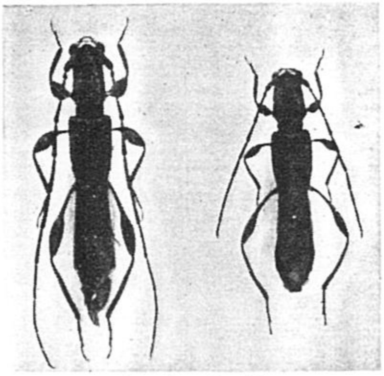
（〒160　新宿区若葉1-14，吉野方）

東京都下奥多摩でホソツヤヒゲナガコバネカミキリを採集

藤田　　宏

ホソツヤヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus nitidus* OBIKA は，新潟県姫川谷・秩父・長野県伊那戸台・兵庫県氷ノ山・英彦山・対馬？などで採集されている（草間慶一，1973，日本産カミキリの生態と分布一覧表，新しい昆虫採集案内Ⅲ）。

筆者らは奥多摩で本種を採集したので報告する。



左：♂　右：♀

1♂，東京都西多摩郡奥多摩町小留浦（標高約400m），26. Ⅳ. 1973，筆者採集

1♂，上同，30. Ⅳ. 1973，斉藤秀秋採集

4♂♂2♀♀，東京都西多摩郡水根（標高540m），30 Ⅳ. 1973，筆者採集（写真）

5♂♂1♀，東京都西多摩郡峰谷橋（標高540m），3. Ⅴ. 1973，筆者採集

4♂♂1♀，上同，森慎一郎採集

なお，峰谷橋では他の *Molorchus* としてオダヒゲナガコバネカミキリとコジマヒゲナガコバネカミキリをそれぞれ1♀ずつ採集できた。

末筆ながら，同定・御教示頂いた小比賀正敬氏，また，御助力下さった森慎一郎・森祐二郎・斉藤秀秋の各氏に深謝したい。

（〒110　台東区台東2-29-6）

高知県室戸岬におけるキイロメダカカミキリの記録

深町　宗通



キイロメダカカミキリ *Stenhomalus nagaoi* HAYASHI は，従来，九州（北部）・本州（春日山）の分布が知られているが，筆者は高知県室戸岬より持ち帰った枯枝（クスノキ科）より，本種を羽化させたので報告する。

7 exs.，東京羽化脱出，6～13. Ⅶ. 1973，クスノキ科材（高知県室戸岬，6. Ⅵ. 1973，筆者採集）

なお，九州（立花山），本州（春日山）の標本と比較してみたが，差異は見い出せなかったことを付記しておく。

（〒170　豊島区上池袋2-28-13，新井方）